道路・交通に関する目標 ： 駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

幹線道路

・環状２号線が地区を東西に横断し、地区の周囲を第三京浜道路、国道１号や国道 16 号が通っているほか、地区北側からのアクセスルートとして羽沢池辺線の整備が行われるなど、幹線道路ネットワークは充実している。

補助幹線道路

・大池道路や池の谷戸通りなどについては、バス通りでもあることから、歩道の設置を進めていき、住民や学生が安全に通行できる道路にしていけると良い。

・バスでの新駅アクセスを確保するため、大池道路や池の谷戸通りからのルートを確保し、利用しやすい駅にしていくとともに、環状２号線や貨物駅などによる地区の分断を解消できると良い。

サイン計画

・留学生などの外国人向けや、来街者向けの案内サインを設置できると良い。

主要区画道路

・地区内の交通を集散するとともに、緊急車両（消防車や救急車など）が円滑に通行できる安心安全なまちを築くために幅員６m 以上の道路を適正に配置できると良い。

・補助幹線道路を補完する、既存道路を活用した新駅へのアクセスを確保していけると良い。

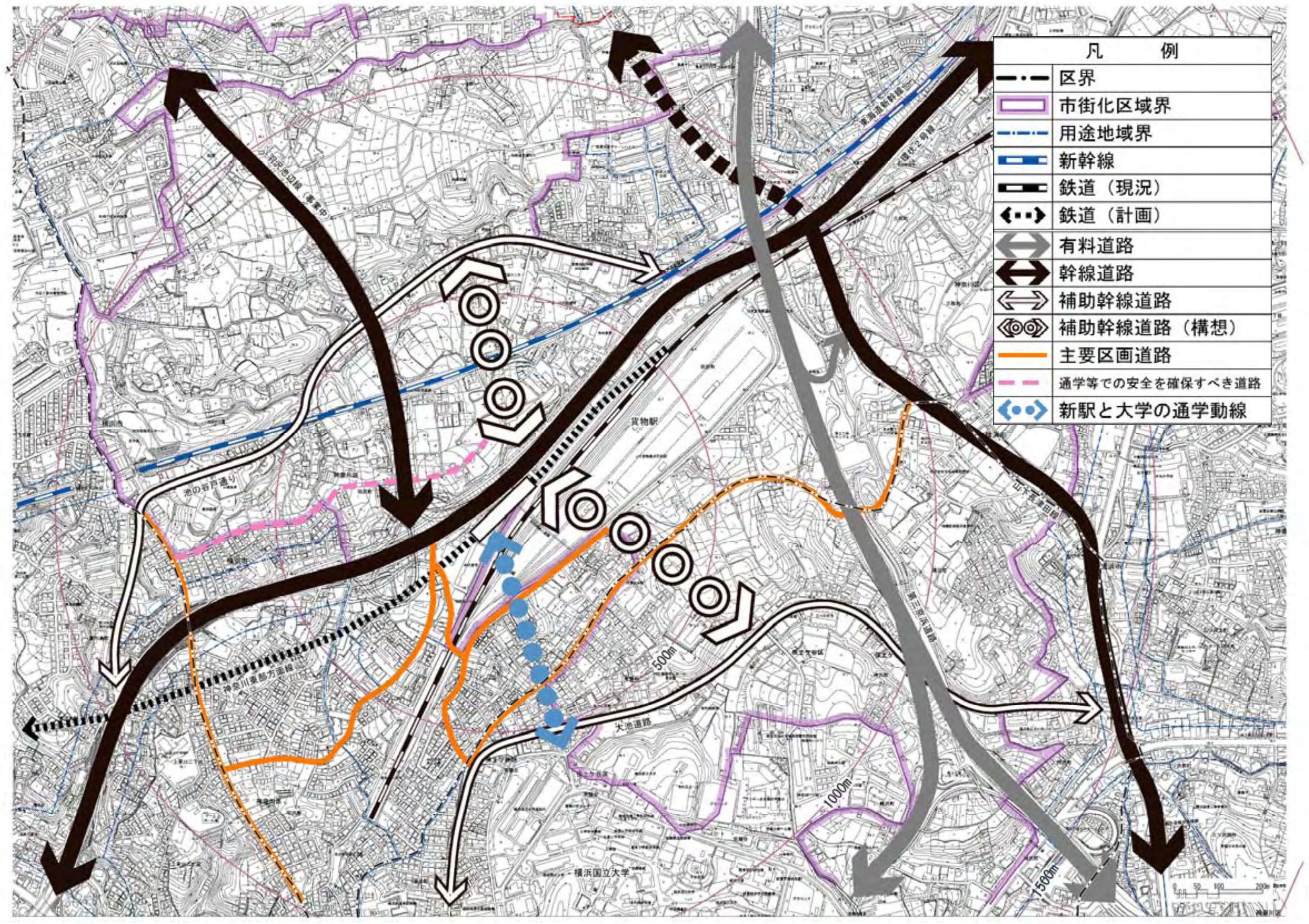
区画道路

・日常生活に身近な区画道路については、幅員４m を最低限確保していけると良い。

・合わせて、一方通行や通学路などのソフト施策も活用していくとともに、新駅と地区内を結ぶ歩行者動線などを検討し、歩行者のさらなる安全性を確保していけると良い。

・新駅と横浜国立大学をつなぐ歩行者動線を想定し、沿道住民や学生などとルールづくりを検討していけると良い。

道路・交通の整備構想図



横浜市都市計画マスタープラン

羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）

概 要 版

平成２２年３月策定　羽沢駅周辺地区まちづくり協議会

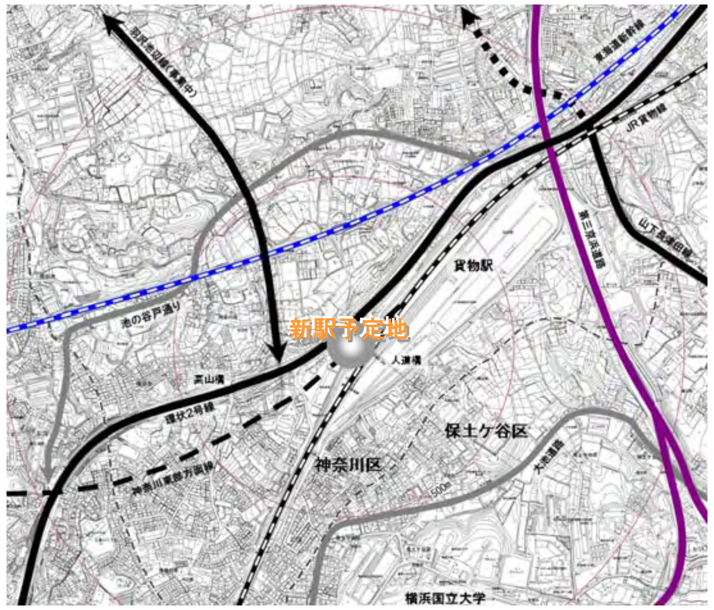
【お問い合わせ先】羽沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局
・神奈川区区政推進課　TEL 411-7028
・保土ケ谷区区政推進課　TEL 334-6374

※表記の「羽沢駅」は仮称であり、決定したものではありません。

神奈川東部方面線の整備に伴い、羽沢貨物駅付近に旅客駅の設置が計画されています。それにより、地域の長年の課題であった交通利便性が大幅に向上し、生活利便性の向上も予想されます。

しかし、便利になることにより、様々な開発、地域の安全性の低下、緑地の減少など、地域の生活環境が変わる可能性があります。

そこで、新駅からの距離が概ね1kmの範囲を対象に、地域住民等による「羽沢駅周辺地区まちづくり協議会」において検討を重ね、まちの将来像や、各テーマごとのまちづくりの方針を「羽沢駅周辺地区プラン（協議会案）」（以後、「協議会案」とする。）としてまとめました。



なお、協議会案は、今後、行政によって策定される「横浜市都市計画マスタープラン　―羽沢駅周辺地区プラン―」（以後、「羽沢駅周辺地区プラン」とする。）のたたき台となるものです。行政は、地域住民が中心となってまとめた協議会案を基に、「羽沢駅地区プラン」を策定します。

まちづくりの目標

緑豊かな環境の保全と都市農業の成長とともに、神奈川東部方面線の開通に伴う地区の利便性の向上と、誰もが安全安心に暮らせるまちを目指すものとして、協議会案では羽沢駅周辺地区のまちづくり目標を以下のように設定しています。

豊かな自然と身近に触れ合うことができ、
生活の利便性に優れ、安心して暮らせるまち

さらにテーマごとの目標を以下のように設定し、その方針を次ページ以降に示しています。

土地利用に関する目標	利便性の高い都市と豊かな自然がバランスよく共生するまち
農地や緑地に関する目標	営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち
道路・交通に関する目標	駅へのアクセスに優れ、安全性を確保したまち

土地利用に関する目標 ： 利便性の高い都市と豊かな自然がバランスよく共生するまち

生活利便施設誘導ゾーン

・ランドマークとなるような建物の立地や、まちの活性化・利便性向上に向けた商業施設の立地が進められ、人々が集まってくるようなきれいなまちになると良い。

・新駅へのアクセス性を高め、鉄道利用者だけでなく、新駅周辺の施設利用者にとっても、利用しやすい駅になると良い。

都市型住宅ゾーン

・現状は低層住宅が中心であるが、新駅から一定の範囲（500m以内など）では、まちの活力となる住民の増加を図るため、中高層の住宅を建てられるようにしても良い。

・中高層の建物が建てられ、その空閑地を道路に充てていくなどして、より良好な住環境の形成につながると良い。

低層住宅ゾーン

・新駅から一定距離以上（500m以上など）離れたエリアでは、既存のまち並みを維持していくため、中高層の建物立地を抑え、低層住宅を中心とした静穏で良好な住環境を保全していけると良い。

・狭あい道路などの改善などにより、より良好な住環境を形成できると良い。

農地保全ゾーン

・農業専用地区や農用地区域、風致地区に指定されており、まとまりのある優良な農地や豊かな緑地であることから、これらを保全していけると良い。

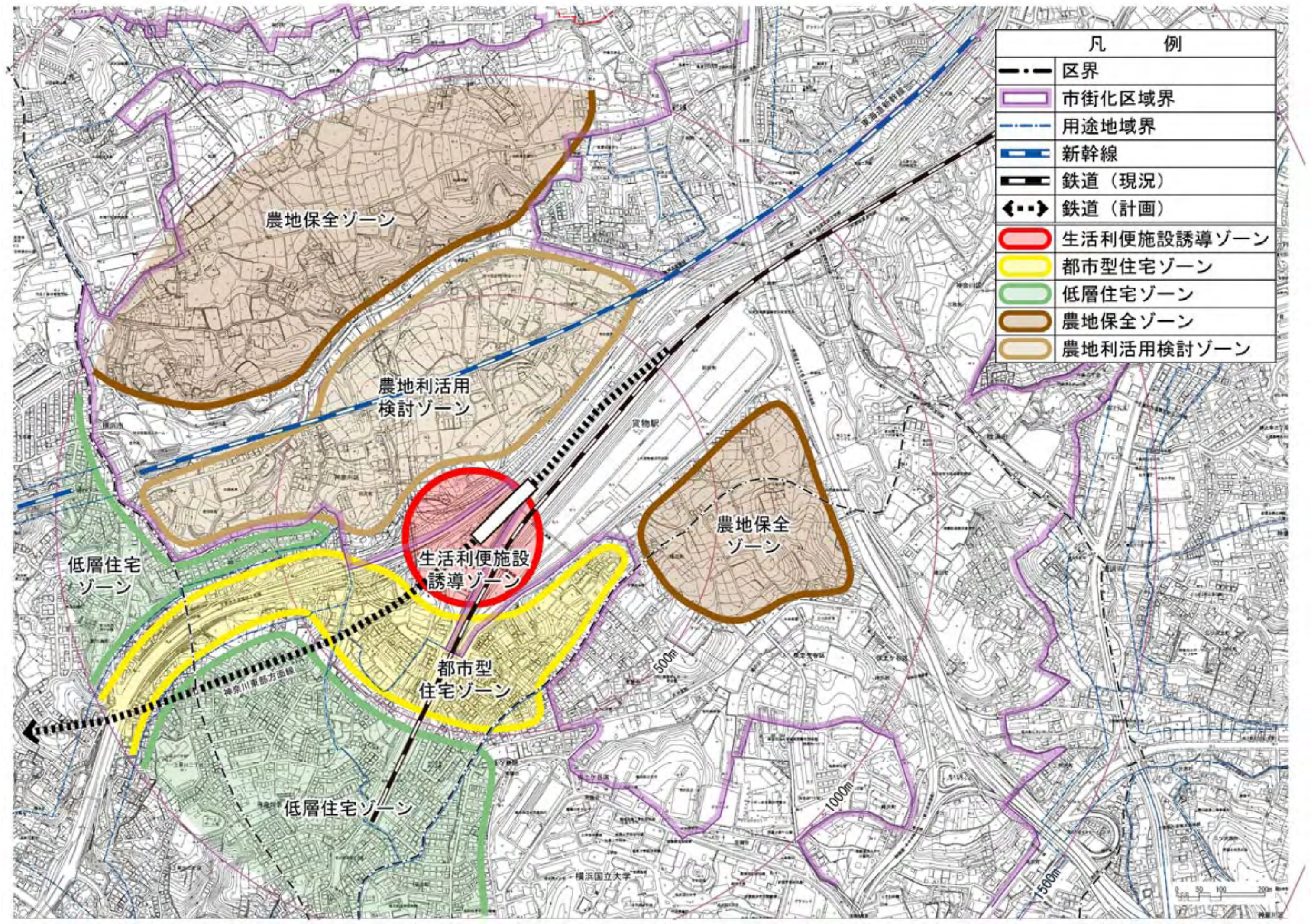
農地利活用検討ゾーン

・新駅に近いエリアなので、利便性の良さを活かした土地利用を考えられると良い。

・農地や緑地などは住民の憩いの場となっているので、今後も大切にしていけると良い。

・農家と住民が理解しあいながら、農業を継続して営めるような仕組みづくりを考えられると良い。

土 地 利 用 構 想 図



農地や緑地に関する目標 ： 営農を支援し、農地や緑地などを保全するまち

農地

【農地の保全】

・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、農地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって農地を守っていけると良い。

・農地を維持、保全するために、地元特産品のＰＲや新たな販売ルートの開拓を支援するなど、副収入に頼らず農業だけでも生活できるような対策が行えると良い。

【担い手の確保】

・新たな農業の担い手を集めていくとともに、営農意欲の高い人に農地が集まる仕組みや、農地の集約化による生産性の向上が図れると良い。

【宅地と農地の共生】

・農地と宅地との境界部に遊歩道や公園のようなものを配置し、緩衝帯を設けていけると良い。

・住民の憩いや安らぎの空間としても、農地を保全していけると良い。

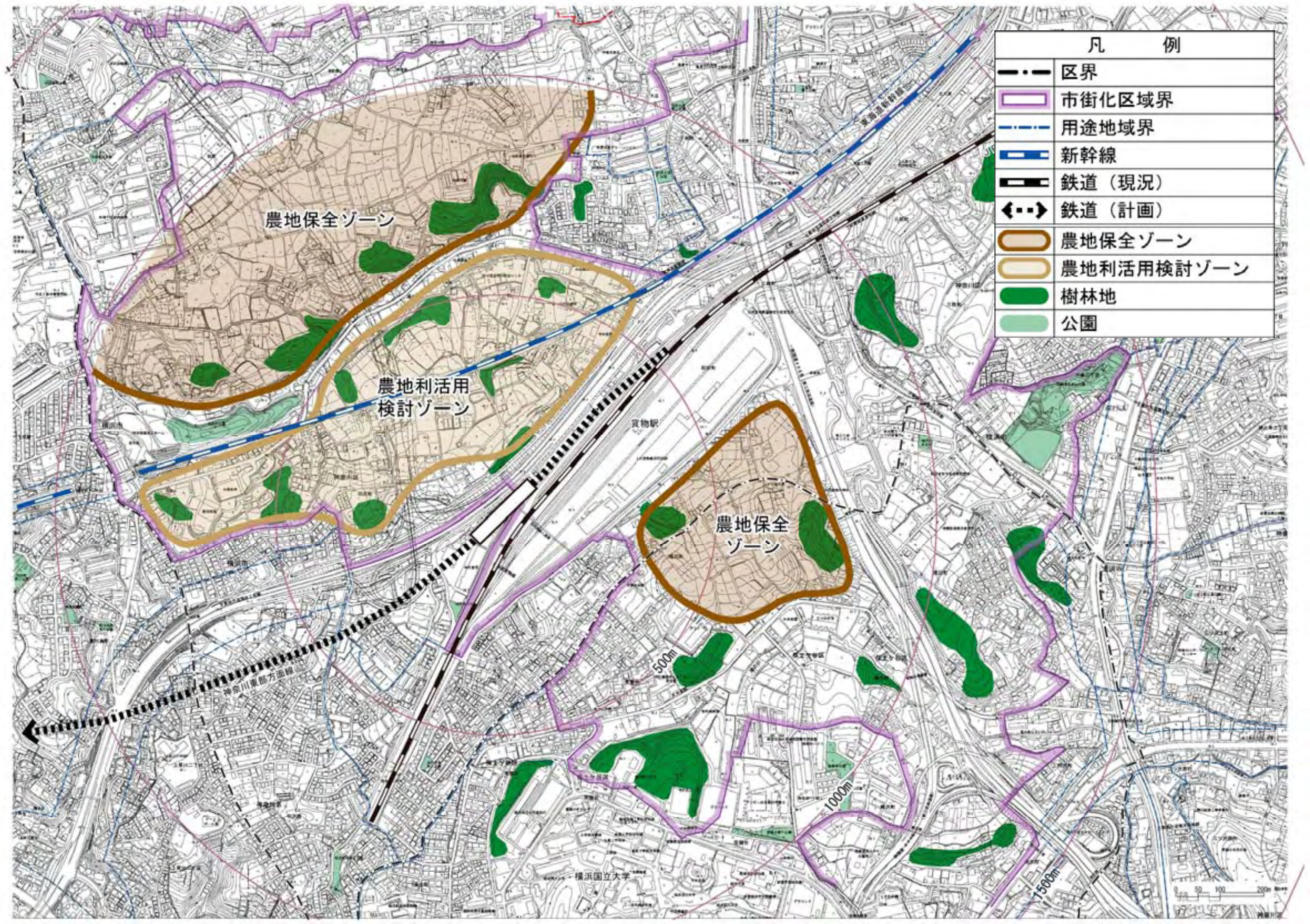
緑地

・緑が豊かなど、良好な自然環境を保全していけると良い。

・税金や近隣対策など負担が大きくなっているため、緑地を個人で維持するのは難しくなっており、地元住民や行政などが一緒になって緑地を守っていけると良い。

公園

・羽沢長谷公園の拡張や、北部の農地を保全するエリアに大きな公園の配置を検討できると良い。

・適正な規模を有し、多様な遊び方ができるような公園を確保していけると良い。

農地や緑地の保全構想図